

TOTO






蒸気排出ユニット

K8MJ060NB・K8MJ075NB・K8MJ090NB





安全上のご注意

- 設置工事の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しく工事してください。
- ここに示す注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

絵表示の詳しい説明は下記のとおりです。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される』内容を示しています。
	この絵表示は、してはいけない『禁止の行為』内容です。
 	この絵表示は、必ず実行いただく『強制指示の行為』内容です。

設置工事完了後、試験運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書に沿って、お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

 警告	
	<p>収納庫・ワークトップなどの商品の施工はそれぞれの施工説明書に従って 確実に行うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施工を誤ると、使用中にねじがゆるみ、けがの原因になります。 <p>設置工事はお買い上げの販売店または専門業者に依頼すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設置工事に不備があると、感電、火災の原因になります。 <p>設置工事は工事説明書に従い確実に行うこと(電源線は端子台に確実に根元まで差し込む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設置工事に不備があると、感電、火災、けがの原因になります。 <p>電源は100 V・15 A以上の専用回路に設置すること(交流100 V以外では使用しない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源回路の容量不足や設置工事不備があると感電、火災の原因になります。
	<p>アース工事を必ず行うこと アース工事は有資格者によるD種接地工事が必要です</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アースが不完全な場合には、感電の原因になることがあります。
	<p>絶対に分解・修理・改造は行わないこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 火災、けが、感電の原因になります。

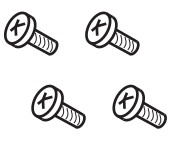
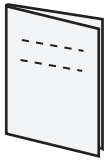
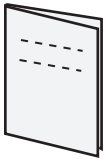
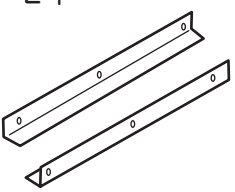
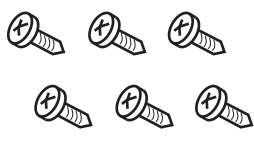
施工上のお願い

- 収納庫・ワークトップなどの施工後、この施工説明書に従って、蒸気排出ユニットの設置工事を行ってください。
- 排気口の正面に、ガスコンロなどを設置しないでください。
(排気口から出てくる蒸気や風によって炎が立ち消えるおそれがあります)
- 家電収納庫などのキャビネットに、この機器を取り付けるための専用取付金具が取り付けられていることを確認してください。専用取付金具が取り付けられていない場合は、付属の専用取付金具を施工説明書に従って取り付けてください。
- 家電収納庫などのキャビネットの裏板の指定位置に電源線・アース線の取り込み穴があることを確認してください。



付属品

■ 包装材料を取り外し、下記の付属品が付属されていることをご確認ください。

蒸気排出ユニット取付ねじ	取扱説明書（保証書付き）	工事説明書（本書）	専用取付金具	専用取付金具取付ねじ
4本（Φ4×8） 	1冊 	1冊 	2本 	6本（Φ4×12） 

1 電気工事および接地工事

- 電気工事は、必ず「法的有資格者」が行ってください。
- 電気工事や接地工事は「電気設備技術基準」等に準じてください。

- この機器を取り付ける収納庫などに指定されている位置の壁面から100cm以上電源線およびアース線を取り出してください。
- 電源は単相100V・15A以上の専用回路を設けてください。
- 電源線は、単線で線径Φ1.6～Φ2.0mmのものを使用してください。
- 接地工事を必ず行ってください。（D種接地工事）
 - コンセントの一極接地用に配線してください。
 - アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースには絶対に接続しないでください。

2 本体への結線と設置

警告



確認

- 配線工事については、有資格者が工事を行うこと
配線工事に不備があると、感電・火災の原因となります。
 - 設置作業を始める前に、専用ブレーカーを切ってください。
ショートして機器が故障する原因となります。
 - 設置作業にあたっては、手袋を正しく着用すること
 - 傷を付けないように、段ボールや古毛布などでキャビネットを養生すること
- 以上をお守りいただけない場合、人的災害および火災などによる家財損傷の危険があります。

■ コンセントへの送り配線接続

- 電源線（本体「出力」側からの）の芯線の被覆を10mm剥いてください。【図1】
- キャビネットに付属のコンセントの端子台に電源線を差し込んでください。【図1】



注意

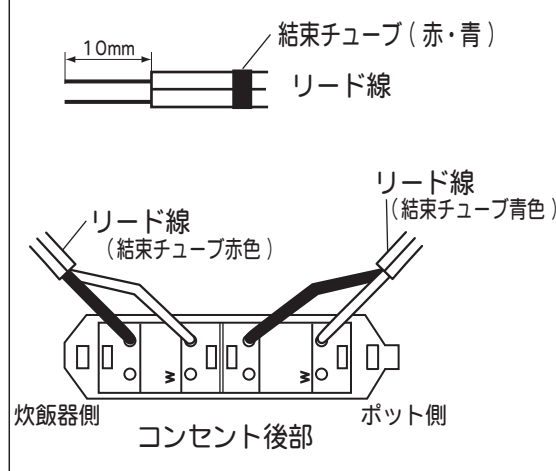


確認

電源線は銅線が隠れるまで確実に奥まで差し込むこと
確実に差し込まないと、ショート・感電・火災のおそれがあります。
(差し込み後、もう一度引っ張って、容易に抜けないことを確認してください。)

- 【図1】は参考例です。
詳しくは、キャビネットの施工説明書に従ってください。


【図1】



2 本体への結線と設置

■ 電源線・アース線の機器への配線工事

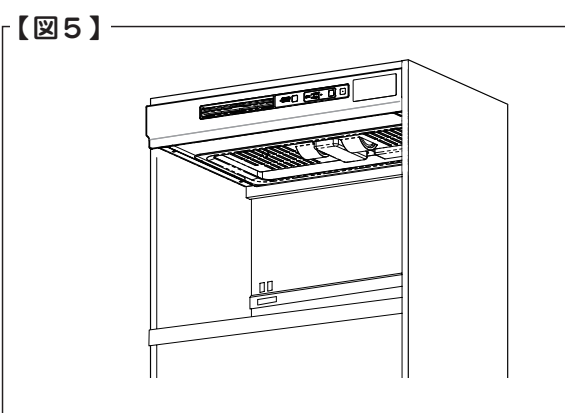
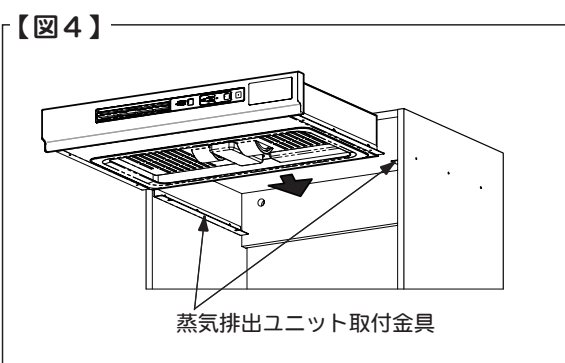
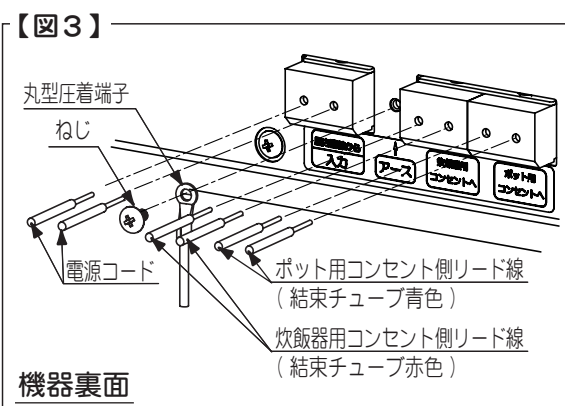
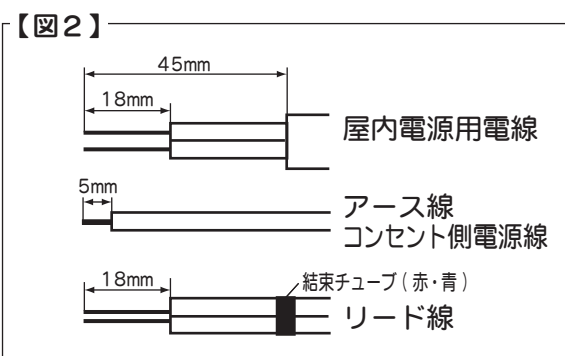
- 電源線の芯線の被覆を18mm剥いてください。【図2】
- アース線の被覆を5mm剥いてください。【図2】
4mmねじ用の丸形圧着端子を付けてください。
- 機器裏面の端子台の接続口に電源線を差し込んでください。
屋内電源用電線を「入力」側に、コンセント側電源線を「炊飯器用」「ポット用」それぞれに差し込んでください。【図3】

⚠ 注意	
 確認	<p>電源線は銅線が隠れるまで確実に奥まで差し込むこと 確実に差し込まないと、ショート・感電・火災のおそれがあります。 (差し込み後、もう一度引っ張って、容易に抜けないことを確認してください。)</p>

- アース端子のねじを外してアース線の丸形圧着端子をねじへ通した後、アース端子へねじを確実に締め付けてください。【図3】

■ 本体の取り付け

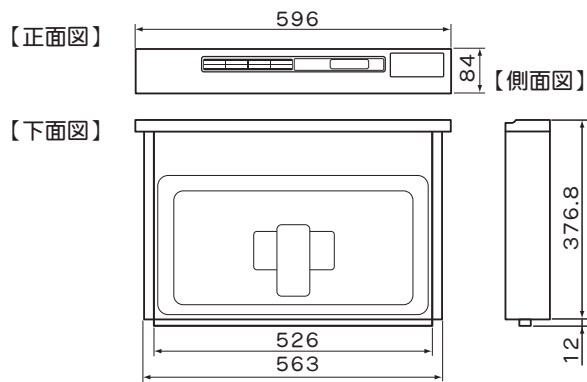
- 付属品の蒸気排出ユニット取付ねじ(φ4X8)を取り出してください。
- 機器を蒸気排出ユニット取付金具に載せ、前からスライドさせてセットしてください。【図4】
蒸気排出ユニット取付ねじ(φ4X8)4本を締め付けて固定させてください。【図5】



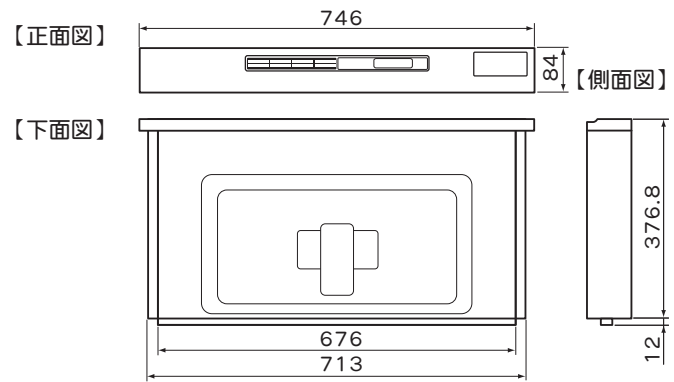
3 製品外形寸法図

(単位：mm)

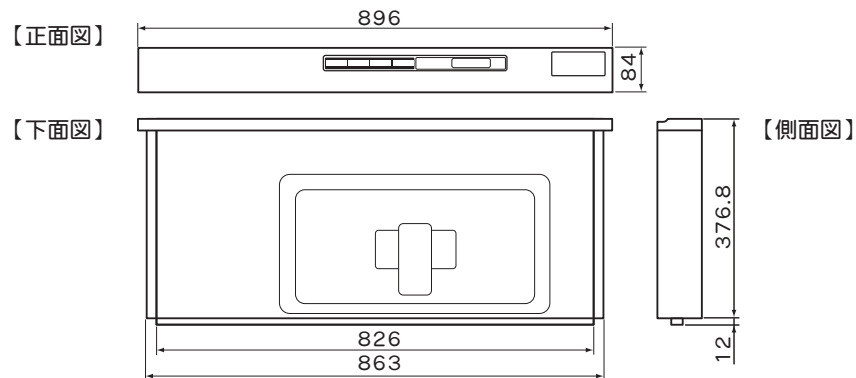
K8MJ060NB (幅60cm)



K8MJ075NB (幅75cm)



K8MJ090NB (幅90cm)



4 設置完了後の確認

■ 次の手順で確認し、チェック欄に印をしてください。

確認事項		チェック
電気工事	● 接地工事がされていること。	
外観	● 機器が確実に固定されていること。	
試験運転	<ul style="list-style-type: none"> ● ブレーカーを「入」にする。 ● 入/切キーを押して「入」にする。 ● 選択キーを押して「手動」に設定する。 ● ランプが点灯し排気ファンが運転することを確認する。 ● スタンバイ状態(電源：切)で「選択」キーを約7秒間押し続けるとポット側のコンセントの通電を遮断すると共に優先ランプが点灯することを確認する。優先ランプの点灯は約5秒間経過すると自動的にスタンバイ状態(電源：切)に戻ります。(炊飯器側とポット側のコンセントが正しく接続されているかどうか確認できます) 	

- 試験運転後は、必ず入/切キーを「切」にしてください。
- 設置完了確認後、保証書に必要事項を記入のうえ、この「施工説明書」とともにお客様へ渡していただき、保管のお願いをしてください。